

Pick up !

輝く男性の家事・子育て体験記

1年間の育児休業を取得して

公務員 K.H

私は2024年2月に第3子・第4子(女の子の双子)が生まれ、4月から1年間育児休業を取得しています。第1子(小学生の長男)と第2子(園児の次男)が生まれた時は育休を取得しなかったのですが、もっと子供と向き合う時間が欲しかったなあと心残りがあり、次に子供が生まれたら育休を取ろうと考えていました。

4月中旬からは妻が職場復帰し、平日の日中は、私が双子のお世話をしています。家事・育児の分担は特に決めずに協力しながら行っていますが、妻が働いている関係上、私が掃除や洗濯、赤ちゃんの病院や寝かしつけなどを担当することが多いです。

育児で大変だと感じるのは、赤ちゃんが安心して過ごすために、多くのことに気を配らないといけない点です。日々のお世話はもちろんですが、便の状態から分かる病気のサインを知ったり、離乳食の順序を学んだり、健康や命に関わるような情報をたくさん知っておく必要があると感じました。また赤ちゃんの成長に合わせて、寝返りが始まったら毛布に埋もれないように寝床を見直したり、ハイハイが始まったら電化製品に突撃し始めたのでベビーサークルを導入したり、環境を柔軟に変更してあげることも大変です。最近、ついに棚や机の上の物に手を伸ばすようになりました。つかまり立ちとつたい歩きが始まったら、お兄ちゃん達のオモチャをどこに置くか、今から悩ましいです。とても大変なので、育休を1年取って本当に良かったと思います。

また、双子ならではの大変さもあると感じています。おむつ替えも2倍、授乳もお風呂も2倍、乳幼児健診の問診票などの書き物も2倍・・・単純な物量の多さに圧倒されています。夜の寝かしつけは、育休開始直後は2時間毎に代わる代わる起きて泣き始め、ミルクを作り・・・とほとんど寝ることができずに大変でした。生後8ヶ月を過ぎたころから夜通し寝てくれるようになり、かなり負担が減ったと感じます。



大変なことだけではなく良かったこともあります。双子は可愛さも2倍です。赤ちゃん2人を並べて写真を撮ることができるのは、双子ならではの楽しみだと思います。

また、お兄ちゃん達が赤ちゃんを可愛がってくれているのも良かったことです。特に長男は元々他人に興味が無いタイプでしたが、赤ちゃんをととても気に掛け、積極的にあやしてくれるようになりました。子供が4人に増え、まるで自宅が保育園のように賑やかな我が家ですが、兄弟間で良い影響が生まれたいなと思います。

育休取得にあたっては、半年前の10月に職場の上司に相談し、快く了解頂けました。育休までの半年間は、4月に自分がいなくなっても業務が問題なく回るように、自分だけが情報を持っている状態を極力減らし、なるべく多くの関係者と多くの情報を共有するように心がけました。専門的な仕事も抱えていたので不安はありましたが、最終的には職場の協力もあり、無事に予定通り4月から育休を開始することができました。

職場復帰後も、子供の急な発熱等で休むことなどもあると思うので、情報共有は引き続き大事にしていきたいと思います。

第1子、第2子の時に育休を取らなかった理由として、自分の仕事の将来に悪影響が出るのではないか、という不安がありました。しかし実際に育休を取ってみると、育休の経験は復帰後にも仕事にプラスになるのではないかと感じました。日々の子育てからは沢山の気づきが得られ、また職場から少し離れることが、自分の仕事のあり方を見直すきっかけにもなったと思います。もし育休取得を迷われている方がいましたら、ぜひ取得することをお勧めします。